

政策シート

(政策名) 地域の文化遺産の継承
(予算費目名) 文化財費

(総合計画体系)

「分野」 文化・生涯学習

30年後の姿 創造都市を実現し、音楽の都として世界から注目されている。

- 10年後の目標
- ・ 音楽などの芸術をきっかけとして新たな文化や産業が創出されている。
 - ・ 多様な歴史・文化による豊かさやスポーツによる喜びを市民が実感している。

◆基本政策 感動のある生活、歴史・文化・スポーツによる豊かさの創造

◇政策の概要

- ・ 市内に所在する文化財の保護活用を推進します。
- ・ 浜松市の歴史文化の魅力を掘り起こしてまちづくりに活かします。
- ・ 浜松地域遺産を継続し、市民協働による地域の文化創造につなげます。
- ・ さまざまな文化財を公開活用することにより、文化交流を促進します。
- ・ 広域連携により文化財ボランティアの人材育成と継続的な活動を推進します。

◇関連するSDGsのゴール

④教育	⑥水・衛生	⑧成長・雇用	⑪都市	⑫生産・消費	⑬気候変動	⑭海洋資源	⑮陸上資源
-----	-------	--------	-----	--------	-------	-------	-------

◇政策のコスト(千円)

	R1	R2	R3	R4	R5	R6
予算	266,160	452,233				
決算	251,205					
人件費(A)	93,400	110,200				
報酬(B)	110					
年間経費(予算又は決算+A+B)	344,715	562,433				

◇政策の指標

政策指標	単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
年間所管文化財施設の全入館者数(人)	人	目標	17300	17600	18000	18300	18600	19000
		実績	16680					
文化財ボランティア登録者数累計(人)	人	目標	120	125	130	135	140	145
		実績	117					
		目標						
		実績						

◇令和元年度の政策評価(政策の概要)

- ・ 文化財の顕彰制度を多重化し、保護顕彰活動を推進する。
- ・ さまざまな文化財を公開活用することにより、文化交流を促進する。
- ・ 地域文化に根差した市民による個性ある文化創造活動を推進する。
- ・ 文化財ボランティアの人材育成、連携と継続的な活動を推進する。

◇令和元年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 計画通り

- ・ 認定文化財は制度導入4年間で市内の幅広い地域の文化財を顕彰できた。
- ・ 地域や専門家の意見を聞いて、二侯城跡及び鳥羽山城跡保存活用計画の策定が完了した。
- ・ 無形民俗文化財の発信や後継者育成に取り組んだ。
- ・ 浜松市地域遺産センターでは地域の特色ある文化遺産を紹介するとともに、歴史文化に興味をもってもらうためのさまざまな普及啓発事業を行った。
- ・ 静岡県と連携して文化財ボランティアの人材育成に努めた。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工			報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	
1	文化財調査顕彰事業	○	○			13,681	1,381	1.5	0.5		
2	文化財保護継承事業		○	○		94,063	70,243	3.3	0.2		
3	文化財施設公開事業	○	○			107,749	104,929	0.3	0.2		
4	文化財活用地域連携事業	○	○	○		71,465	58,465	1.6	0.5		
5	埋蔵文化財調査事業	○	○	○		269,592	215,592	4.0	1.0		8.0
6	文化財運営経費(一般諸経費のみ)					5,883	1,623	0.3	0.6		
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計						562,433	452,233	11.0	3.0		8.0

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

事業シート (事業名) 文化財調査顕彰事業

◇事業目的・事業対象

・市内の文化財の調査を行うとともに、広く市民に情報発信することで、文化財の保護・顕彰を図る。

◇事業の概要

- ・国・県・市指定文化財、登録文化財等の保存状況等の調査
- ・新指定候補物件についての、情報収集、調査等
- ・歴史街道の継続調査
- ・文化財に関する情報の発信
- ・文化財講座、現地見学会等の開催
- ・認定文化財制度(浜松地域遺産)による歴史文化資源の顕彰

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H18	-	一般会計	自治事務(法令義務)	文化財保護法、浜松市文化財保護条例等	○	-	○

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	2,811	1,381				
	決算	1,232					
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	1,232	1,381				
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等)(千円)							
人件費(千円)		9,500	12,300				
人工	正規	1.1	1.5				
	再任用(h31)	0.5	0.5				
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	○ 11.4
③ 保健		⑫ 生産・消費	○ 12.b
④ 教育	○ 4.7	⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生	○ 6.6	⑮ 陸上資源	○ 15.5
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用	○ 8.9	⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

- ・文化財に関する講座や現地見学会を通じ、市民の皆様には生涯学習の機会を提供する。
- ・文化財の指定制度や、市独自の認定制度を通じ、文化遺産・自然遺産、自然生態系・生息地の保護・保全に努める。
- ・文化財の顕彰を通じ、地方の文化振興につながる持続可能な観光業を促進する。

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
国・県・市の指定・登録文化財の延べ件数(件)					-		
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値		510	513	516	519	522	525
実績値		510					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
浜松地域遺産推薦受理延べ件数(件)							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	240	260	330	350	370	390	410
実績値	242	310					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

- ・国・県・市指定文化財等の保存状況等の調査
- ・新指定候補物件についての、情報収集、調査等
- ・認定文化財制度(浜松地域遺産)による歴史文化資源の顕彰

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

- ・指定文化財、遺跡等の保存状況等調査
- ・文化財の新指定等(新規国指定1件、新規県指定1件、新規市指定1件、新規国登録1件)
- ・新規指定候補物件の調査(3件)
- ・登録候補物件の調査(2件)
- ・浜松地域遺産認定件数(66件)

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

不要不急の企画(展示、現地見学会)を見直すなど業務量の削減に努めた。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

・文化財の調査は文化財課業務の根幹をなすものであり、新規の指定候補文化財の調査や未指定文化財の掘り起こしに引き続き取り組んでいく。

・平成28年度から開始した浜松地域遺産認定制度について、令和元年度までに308件を認定することができた。今後は、認定から指定への昇格も検討し、制度の活性化や文化財の保護を図る。

事業シート (事業名) 文化財保護継承事業

◇事業目的・事業対象

・適切な維持管理により、貴重な地域資源である文化財を良好な状態で保護保存するとともに、見学者等の安全確保、利便性の向上を図る。

◇事業の概要

- ・浜松市文化財保護審議会の運営
- ・史跡等の草刈り、文化財看板の整備等の環境整備
- ・指定文化財保存修理事業、無形民俗文化財伝承活動等に対する補助金の交付

【R1-R4重点戦略項目No.189】

- ・文化財保存活用地域計画の策定(R1~R2)

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S34	-	一般会計	自治事務(法令義務)	文化財保護法、浜松市文化財保護条例等	-	○	○

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	58,424	70,243				
	決算	67,850					
	国・県支出	3,577	3,000				
	市債						
	その他	321	364				
	一般財源 一般会計繰入金	63,952	66,879				
人件費(報酬等)(千円)		110					
人件費(千円)		19,300	23,820				
人工	正規	2.5	3.3				
	再任用(h31)	0.5	0.2				
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	○ 11.4
③ 保健		⑫ 生産・消費	○ 12.b
④ 教育	○ 4.7	⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生	○ 6.6	⑮ 陸上資源	○ 15.5
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用	○ 8.9	⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

- ・指定文化財の修理・保存に対する助成を行い、文化遺産・自然遺産を保護・保全する。
- ・史跡等の周辺環境を整備することで、自然生態系・生息地を保護・保全する。
また、看板の整備等により観光業の促進を図る。

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
浜松地域遺産推薦受理累積件数(件)					-		189
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	240	260	330	350	370	390	410
実績値	242	310					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

- ・浜松市文化財保護審議会の運営
- ・史跡等の草刈り、説明看板の整備等の文化財環境整備の実施
- ・指定文化財修理・保存事業、無形民俗文化財伝承活動等に対する補助金の交付

【R1-R4重点戦略項目No.189】

- ・文化財保存活用地域計画の策定(R1~R2)

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

- ・文化財保護審議会の開催(3回)
- ・文化財看板・設備の整備・修繕(32箇所)
- ・文化財環境整備(42箇所)
- ・補助金の交付(29件)

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

・文化財の種別(有形文化財、記念物など)ごとに業務担当を定めているが、台風シーズンなど特定の職員に業務が集中する時期があることから、担当をまたいで柔軟に相互応援を行うことにより効率的な事業実施を試みた。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

・史跡周辺の宅地化の進行や、近年の気象の変化(台風、ゲリラ雷雨の増加)に伴い、雑草、倒木等に対する要望、苦情が増加しているため、適切な環境整備を指導する。

・改正文化財保護法(H31.4月施行)の盛り込まれた「文化財保存活用地域計画」を令和2年度までに策定し、中長期的な観点から、文化財の保存と活用に計画的に取り組んでいく。

令和2年度

(管理番号)
06 01 04 01 000632000 02(担当課)
文化財課(責任者)
鈴木 一有(基準日)
令和 2 年 7 月 1 日**補助シート** (事業名) 文化財保護継承事業

◇【R1～R4】事業工程表(No.:重点戦略項目No)

No.	R1	R2	R3	R4
189	文化財保存活用地域計画の策定作業(調査、執筆) 各種方面からの意見聴取	文化財保存活用地域計画の策定作業(執筆、編集) 各種方面からの意見聴取 計画書の印刷製本	文化庁への認定申請 年度内に認定予定	計画をもとにした文化財保存活用施策の遂行
〇〇				

事業シート (事業名) 文化財施設公開事業

◇事業目的・事業対象

文化財関係施設を適切に維持・管理するとともに、広く公開することで市民文化の向上を図る。

◇事業の概要

- ・市指定文化財・舞坂宿脇本陣維持管理事業
- ・国重要文化財・中村家住宅維持管理事業
- ・国重要文化財・鈴木家住宅維持管理事業
- ・賀茂真淵記念館維持管理事業 <指定管理>
- ・国登録文化財・田代家住宅維持管理事業
- ・内山真龍資料館維持管理事業

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H8	-	一般会計	自治事務(法令義務)	文化財保護法、浜松市文化財保護条例等	○	-	○

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	56,629	104,929				
	決算	53,967					
	国・県支出	2,843	32,628				
	市債						
	その他	175	192				
	一般財源 一般会計繰入金	50,949	72,109				
人件費(報酬等) (千円)							
人件費 (千円)		2,120	2,820				
人工	正規	0.2	0.3				
	再任用(h31)	0.2	0.2				
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	○ 11.4
③ 保健		⑫ 生産・消費	○ 12.b
④ 教育	○ 4.7	⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用	○ 8.9	⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

- ・文化財施設を適切に維持管理し、文化遺産を保護・保全する。
- ・施設の公開を通じて市民の皆様々に生涯学習の機会を提供するとともに、持続可能な観光業を促進する。

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
所管文化財施設の全入館者数(人/年)							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	17200	17300	17600	18000	18400	18600	19000
実績値	19276	16680					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

- ・市指定文化財・舞坂宿脇本陣維持管理事業
- ・国重要文化財・中村家住宅維持管理事業
- ・国重要文化財・鈴木家住宅維持管理事業
- ・賀茂真淵記念館維持管理事業 <<指定管理>>
- ・国登録文化財・田代家住宅維持管理事業
- ・内山真龍資料館維持管理事業

・事業の成果と課題

指標の達成度

進んでいる

各施設入館者数(数字はH29実績→H30実績→R1実績)

- ・舞坂宿脇本陣 : 7,142人→5,250人→ 4,456人
- ・中村家住宅 : 1,474人→1,642人→ 1,197人
- ・鈴木家住宅 : 418人→ 143人→ 383人
- ・賀茂真淵記念館 : 6,384人→6,894人→ 6,561人
- ・田代家住宅 : 2,001人→3,316人→ 2,853人
- ・内山真龍資料館 : 1,793人→2,031人→ 1,230人
- ・合計 19,212人→19,276人→16,680人

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・施設管理受託者、指定管理者と連携して広報活動や施設修繕を実施し、入館者数の増加に努めた。
- ・指定管理に関する事務を再任用職員(0.2人工)に分担した。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

施設の老朽化が進み、屋根葺き替え(中村家・鈴木家)、耐震化(田代家)等が必要となり、事業費の増加が予想される。

事業シート (事業名) 文化財活用地域連携事業

◇事業目的・事業対象

地域住民、NPO、民俗芸能保存団体等と連携し、文化財を適切に保護するとともに活用を図る。

◇事業の概要

- ・アカウミガメ保護事業：NPOとの連携によるアカウミガメとその産卵地保護事業及び親子を対象とした啓発事業の実施
- ・遠州山辺の道整備事業：市民協働によるワークショップ等の実施及び案内サイン等の整備
- ・大規模災害時復旧対策推進事業：文化財防災に係るネットワークの構築

【R1-R4重点戦略項目No.190】

- ・無形民俗文化財活性化事業：無形民俗文化財保護団体との協働による民俗芸能の顕彰及び情報の発信

【R1-R4重点戦略項目No.188】

- ・史跡整備活用事業：戦国時代の城郭群等を本市の歴史・文化資源として活用するための、見学環境の整備や講座等の開催、二俣城跡及び鳥羽山城跡の整備基本計画作成、光明山古墳の公有化、浜松城跡の石垣調査・工事ほか

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S62	-	一般会計	自治事務(法令義務)	文化財保護法、浜松市文化財保護条例等	○	○	○

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	17,348	58,465				
	決算	14,210					
	国・県支出	1,237	17,099				
	市債						
	その他						
	一般財源 一般会計繰入金	12,973	41,366				
人件費(報酬等)(千円)							
人件費(千円)		9,120	13,000				
人工	正規	1.2	1.6				
	再任用(h31)	0.2	0.5				
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	○ 11.4
③ 保健		⑫ 生産・消費	○ 12.b
④ 教育	○ 4.7	⑬ 気候変動	○ 13.1
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	○ 14.2
⑥ 水・衛生	○ 6.6	⑮ 陸上資源	○ 15.5
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用	○ 8.9	⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

- ・遠州灘海岸に生息するアカウミガメとその産卵地(市指定天然記念物)の保護に努める。
- ・大規模災害時における文化財の減災・復旧体制を強化し、文化遺産及び自然遺産を保護・保全する。

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
文化財ボランティア登録者数累計(人)							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	120	120	125	130	135	140	145
実績値	117	117					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
「全国地芝居公演会」開催に向けた工程進捗率(%)							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	開催内容決定	計画策定	10	20	50	100	
実績値	開催調整	開催調整					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
無形民俗文化財保護団体連絡会が芸能、祭礼等を伝承する次世代の延べ人数(人)							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	-	50	100	150	200	250	300
実績値	-	90					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
二俣城跡及び鳥羽山城跡の整備事業進捗率(%)							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	計画策定	計画策定	20	40	60	80	100
実績値	策定中	策定					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
各区協議会、まちづくり協議会等地域団体との延べ会合数(件)							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	2	5	7	10	12	14	15
実績値	2	6					

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

- ・アカウミガメ保護事業:アカウミガメとその産卵地保護事業及び啓発事業の実施
- ・遠州山辺の道整備事業:市民協働による案内サイン等の整備
- ・大規模災害時復旧対策推進事業:文化財防災に係るネットワークの構築

【R1-R4重点戦略項目No.190】

- ・無形民俗文化財活性化事業:無形民俗文化財の次世代継承活動、無形民俗文化財保護団体との協働による民俗芸能の顕彰及び情報の発信、三遠南信ふるさと歌舞伎(愛知→静岡→長野の持ち回り開催)への参加、民俗芸能大会激励金の交付、「全国地芝居公演会」の開催に向けた調整

【R1-R4重点戦略項目No.188】

- ・史跡整備活用事業:戦国時代の城郭群等を本市の歴史・文化資源として活用するための、見学環境の整備や講座等の開催

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

- ・アカウミガメ保護事業:NPOとの連携により産卵地保護事業及び親子を対象とした啓発事業を実施した。
- ・遠州山辺の道整備事業:市民団体との協働によりワークショップの開催、案内サインの整備等を行った。
- ・大規模災害時復旧対策推進事業:文化財防災ボランティア講座を2回を開催。3回目の講座は、新型コロナウイルスの影響で延期としたため、指標「文化財ボランティア登録者数累計」については未評価。
- ・無形民俗文化財活性化事業:保護団体や大学との協働により、民俗芸能の次世代継承活動を行った。三遠南信ふるさと歌舞伎交流豊橋大会に参加したほか、令和2年度に開催する浜松大会の調整を行った。
- ・史跡整備活用事業:平成30年度から二俣未来まちづくり協議会等の意見を踏まえ策定を進めてきた、二俣城跡及び鳥羽山城跡の保存活用計画の策定が令和元年度で完了。計画どおりに進捗している。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・二俣城跡及び鳥羽山城跡の保存活用計画を策定した。策定にあたっては、他都市の先進事例の収集・分析、学識経験者による検討、執筆作業の一部委託化などにより事務の適正化、効率化を図った。
- ・全国地芝居公演会は、開催を先送りすることが決まった。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・二俣城跡及び鳥羽山城跡については、庁内関係各課と連携し、整備基本計画の策定を進める。あわせて、歴史まちづくり法適用に向け、地域全体の活性化策についての検討を進めていく。
- ・無形民俗文化財については、保存団体や地域と連携し、一層の活用と次世代への継承を図っていく。

補助シート (事業名) 文化財活用地域連携事業

◇【R1～R4】事業工程表(No.:重点戦略項目No)

No.	R1	R2	R3	R4
188	史跡二俣城跡及び鳥羽山城跡保存活用計画の策定	・保存活用計画を文化庁へ認定申請 ・整備基本計画策定着手	整備基本計画策定	整備基本設計
190	無形民俗文化財保護団体連絡会による芸能、祭礼等の次世代への伝承	無形民俗文化財保護団体連絡会による芸能、祭礼等の次世代への伝承 関連団体の連絡会加入への促し	無形民俗文化財保護団体連絡会による芸能、祭礼等の次世代への伝承 関連団体の連絡会加入への促し	無形民俗文化財保護団体連絡会による芸能、祭礼等の次世代への伝承 関連団体の連絡会加入への促し

事業シート (事業名) 埋蔵文化財調査事業

◇事業目的・事業対象

- ◆埋蔵文化財包蔵地の照会と指導を適切に進め、発掘情報を公開する。
- ◆民間開発にかかる緊急発掘の調整を適切に進める。
- ◆出土品の保管と公開のため、しかるべき施設を確保する。

◇事業の概要

【R1-R4重点戦略項目No.169】①埋蔵文化財発掘調査事業(元城小学校跡地における発掘調査)
・浜松城跡の発掘調査を進め、今後の事業展開のための情報を得るとともに、その内容の周知をはかる。

①埋蔵文化財発掘調査事業

・埋蔵文化財包蔵地の有無や範囲を確認するための試掘調査や範囲確認調査を実施し、その成果を報告書にまとめ、その内容を広く周知するとともに、公開活用を図る。

②埋蔵文化財本発掘調査事業

・埋蔵文化財発掘調査は教育委員会(文化財課が補助執行)の業務(文化財保護法第99条)として行う。実施にあたっては民間調査組織を活用する。

③遺跡出土品等情報公開・活用事業

・遺跡や出土品に関し、調査により明らかになった歴史情報を、多様な手段により積極的に公開・活用する。

④地域遺産センター維持管理事業

・①～③の事業及び文化財の保存・活用事業を実施するための拠点となる地域遺産センターを運営する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S30	-	一般会計	自治事務(法令義務)	文化財保護法、浜松市埋蔵文化財保護事務に関する規則	○	○	○

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	129,152	215,592				
	決算	112,311					
	国・県支出	1,312	1,571				
	市債						
	その他	79,035	182,918				
	一般財源	31,964	31,103				
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(千円)							
人件費(千円)		49,100	54,000				
人工	正規	3.7	4.0				
	再任用(h31)	1.0	1.0				
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	7.0	8.0				

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	○ 11.4
③ 保健		⑫ 生産・消費	○ 12.8
④ 教育	○ 4.7	⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生	○ 6.6	⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用	○ 8.9	⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

市民共有の財産である埋蔵文化財の調査成果を積極的に活用し、学校教育及び生涯学習の機会を広く設ける。

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
埋蔵文化財照会件数(件/年)							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	5000	5500	5600	5800	6000	6250	6500
実績値	5626	6084					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
地域遺産センター入館者数累計(人)							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	115000	115000	121000	127000	133000	139000	145000
実績値	111259	119029					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
「全国遺跡報告書総覧」(報告書検索閲覧サイト)への登録図書数累計(件)							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	-	-	100	110	120	130	140
実績値	-	92					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
浜松城跡(元城小跡地)の発掘調査の進捗率(%)							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	-	25	50	75	100	-	-
実績値	-	25					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

【R1-R4重点戦略項目No.169】①埋蔵文化財発掘調査事業(元城小学校跡地における発掘調査)
 ・浜松城跡の発掘調査を進め、今後の事業展開のための情報を得るとともにその内容の周知を図った。
 ①埋蔵文化財発掘調査事業
 ・埋蔵文化財包蔵地の有無や範囲を確認するための試掘調査や範囲確認調査を実施し、その成果を報告書にまとめ、その内容を広く周知するとともに、公開活用を図った。
 ②埋蔵文化財本発掘調査事業
 ・埋蔵文化財発掘調査は教育委員会(文化財課が補助執行)の業務(文化財保護法第99条)として行う。実施にあたっては民間調査組織を活用した。
 ③遺跡出土品等情報公開・活用事業
 ・遺跡や出土品に関し、調査により明らかになった歴史情報を、多様な手段により積極的に公開・活用した。
 ④地域遺産センター維持管理事業
 ・①~③の事業及び文化財の保存・活用事業を実施するための拠点となる浜松市地域遺産センターを運営した。

・事業の成果と課題

指標の達成度
 進んでいる

住宅建設など、民間の開発行為に伴う埋蔵文化財の取り扱いについての周知が行き届き、年間の埋蔵文化財照会件数をはじめ、試掘確認調査数、開発に伴う届出、通知件数(文化財保護法93・94条)などが、近年増加傾向である。重要な調査成果も数多く、発掘調査現場や出土品等の情報公開にかかわる市民の関心や期待も高まっている。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

照会業務のしるすや、調査報告作成などの定型化・分業化により、増加する業務量に対応した。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

埋蔵文化財調査作業や照会・調整業務の増大に伴い、業務量の増加が見込まれる。
大規模な本発掘調査については、業務委託によって対応する。

令和2年度

(管理番号)
06 01 04 01 000632000 05

(担当課)
文化財課

(責任者)
鈴木 一有

(基準日)
令和 2 年 7 月 1 日

補助シート (事業名) 埋蔵文化財調査事業

◇【R1～R4】事業工程表 (No.: 重点戦略項目No)

No.	R1	R2	R3	R4
169	・二の丸(元城小跡)全体における遺構の残存状況の確認	・前年度の調査成果により確認された遺構の範囲確認等の詳細調査	・前2ヶ年の調査成果により確認された遺構の掘削調査	・遺構掘削調査の続きと調査成果を踏まえた上での補足調査
〇〇				

令和2年度

(管理番号)
06 01 04 01 000632000 06

(担当課)
文化財課

(責任者)
鈴木 一有

(基準日)
令和 2 年 7 月 1 日

事業シート (事業名) 文化財運営経費(一般諸経費のみ)

◇事業目的・事業対象

文化財課の一般事務に要する経費

◇事業の概要

- ・旅費
- ・その事務費

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
					-	-	-

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	1,796	1,623				
	決算	1,635					
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	1,635	1,623				
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等) (千円)							
人件費 (千円)		4,260	4,260				
人工	正規	0.3	0.3				
	再任用(h31)	0.6	0.6				
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

・効果的に文化財を保存活用するために、公的、官民、市民社会のパートナーシップを推進する。

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

・事業の成果と課題

指標の達成度

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

文化財課の一般事務に要する経費をまとめたものであり、現状維持とする。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

文化財課の一般事務に要する経費をまとめたものであり、現状維持とする。